

＝ 会 告 ＝

講演会・見学会等の開催予定

2019年11月12日現在

開催予定月日	講演申込締切	前刷原稿提出締切	催しもの	開催地	共催学協会名	企画部門	備考
2019年12月4日(水)～6日(金)	2019年5月25日(土)	2019年7月22日(月)	アジア太平洋航空宇宙技術国際シンポジウム2019(APISAT-2019)	オーストラリア(ゴールドコースト)	RAeSAAustralianDivision, KSAS, CSAA	APISAT連絡・実行委員会	
2020年3月11日(水)～14日(土)	2019年11月8日(金)	2019年12月6日(金)	AJCPP-2020(兼第60回航空原動機・宇宙推進講演会)	仁川(韓国)	中国工程熱物学会, 韓国推進工学会	原動機・推進部門委員会	
2020年3月18日(水)～19日(木)	2019年12月13日(金)	2020年1月24日(金)	日本航空宇宙学会北部支部2020年講演会ならびに第1回再使用型宇宙輸送系シンポジウム	室蘭市	航空宇宙技術振興財団(予定)	北部支部	67巻10月会告6頁参照
2020年4月16日(木)～17日(金)	2019年12月20日(金)	2020年2月14日(金)	第51期定時社員総会及び年会講演会	東京都		第51期理事会	67巻12月会告2頁参照
2020年9月14日(月)～18日(金)	2019年7月31日(水)	2020年6月1日(月)	第32回国際航空科学会議上海大会(ICAS2020)	中国(上海)			67巻5号会告4頁参照

会員数 (2019年10月現在)

資格	正会員	学生会員	名誉会員	賛助会員(個人)	賛助会員(団体)
10月会員数	3289	1157	50	0	57
9月会員数	3279	1108	51	0	57
差引増減	10	49	-1	0	0

新入会員名簿学生会員 (敬称略)

高橋智也(鳥取大学), 田中雄大(鳥取大学), 今村宏彰(同志社大学), 山田浩史(龍谷大学), 岡本涼太(名古屋大学), 加藤雅也(東京大学), 遠藤大地(関西大学), 吉田拓人(中京大学), 河邊拓樹(東京大学), 高橋雄文(九州大学), 丸山貴大(九州大学), 村上太地(日本大学), 尾又由佳乃(首都大学東京), 森木 甫(日本大学), 橋脇健太郎(大阪府立大学), 笹原 将(東海大学), 川根祥範(首都大学東京), 早友龍聖(首都大学東京), 片山駿介(東京理科大学), 川端弘樹(鳥取大学), 佐茂亮太(早稲田大学), 河合弘貴(鳥取大学), ANGYIYOUNG(室蘭工業大学), 清水大市(中部大学), 山本祐揮(中部大学), 李林嘉元(東京大学), 橋本涼太(首都大学東京), 平松修一(九州大学), 西尾菜々実(龍谷大学), Senior Shimhanda(九州工業大学), 田中紘生(九州大学), 戸田寛志(香川高等専門学校), 安戸博紀(東京工業大学), 鶴見航基(法政大学), 曾東元喜(京都大学), 齋藤 望(九州大学), 永井健太郎(東京理科大学), 平賀康太郎(九州工業大学), 小川真吾(名古屋大学), 熊谷 剛(東京大学), 藤松拓弥(九州大学), 川島桜也(東京大学), 太田大智(東京理科大学), 沖 真裕(筑波大学), 陳 柏勲(東京大学), ジョ ソン ミン(東京大学), 坪内啓晟(東海大学), 井澤壮太(東京大学), 平野 航(首都大学東京), 青木諒平(帝京大学), 高橋勇人(首都大学東京)

新入会員名簿正会員 (敬称略)

石上玄也(慶應義塾大学), 坂本憲一(鳥取大学), 秋本修(東京大学), 山田英輝(宇宙航空研究開発機構), 和田雅子((一社)日本女性航空協会), 川元明浩(久留米工業大学), 春山純一(宇宙航空研究開発機構), 橋本真梨子((株)デンソー), 奥 宏史(大阪工業大学), 伊藤正剛(三菱重工業(株)), 金山千春((株)シンキー), 嶋田 凌((株)エイ・エス・アイ総研), 岩田理彩(日本製鉄(株)), 小林悠也(三菱電機エンジニアリング(株))

☆会員増強にご協力下さい☆
 一般社団法人 日本航空宇宙学会
<http://www.jsass.or.jp>

事務局より会員の皆様へお願い

◎ご転勤、ご転居その他、学会への届出事項に異動がありました場合はお忘れなく事務局宛ご連絡下さい。
 学会ホームページ、会員向けページ内WEB名簿よりご登録変更が可能です。またログイン方法が不明な会員は、事務局までメールまたは電話で、ご確認願います。ホームページに関してのお問合せは下記迄。
 学会事務局 Tel : 03-6262-5313 メール : office@jsass.or.jp

一般社団法人日本航空宇宙学会 第51期年会講演会 講演募集

主催：(一社)日本航空宇宙学会

開催日：2020年4月16日(木)～17日(金)

会場：東京大学 生産技術研究所 (An棟・As棟)
〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1
(<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/>)

内容：一般講演、オーガナイズドセッション、特別講演、パネルディスカッション、学会賞受賞記念講演、理事会企画等。

4月17日(金)に、代議員による社員総会と、名誉会員推挙状の贈呈、学会賞授与等を行う“会員の集い”を開催。詳細は決まり次第、学会ホームページ(<http://www.jsass.or.jp>)にてお知らせします。

講演時間：一般講演は1件20分(討論5分を含む)。

講演申込：2019年12月20日(金)締切。
学会ホームページ上の「講演申込み」(<https://www.jsass.jp/egk/nenkai/>)からお申込みください。ただし登壇者は日本航空宇宙学会会員、学生会員に限ります(会場にて入会手続き可)。申込み受付後、「JSASS講演申込受付」が自動送信されます。万一、「JSASS講演申込受付」がお手許に届かない場合は、2020年1月10日(金)までに、事務局宛てにご一報ください。講演申込みをご辞退いただく場合には、別途ご連絡いたします。

前刷原稿：2020年2月14日(金)締切。
学会ホームページ上の「講演集原稿書式の見本」に従ってA4判2～10ページのPDF原稿(5MB以下)を作成し、本会からのメール「講演会原稿アップロード依頼」でご案内いたしますアドレスへ電子投稿してください。

参加登録料：会員 5,000円、学生会員 1,000円
(事前登録) 非会員 7,000円、学生非会員 2,000円
(CD-ROM講演集代を含む)

以下より事前参加登録可能。

【<https://www.jsass.jp/egk/nenkai/>】

当日お支払いの方は、上記参加登録料より2,000円値上がりいたします。

1部3,000円(送料500円)でCD-ROM講演集のみを販売。購入希望者は、下記問合せ先へ、送付先、請求書宛名等記載の上お申込みください。

表彰：若手研究者および学生の優秀な講演に対し下記の優秀講演賞を贈り表彰します。

・若手優秀講演賞：講演時に35歳以下(学生を除く)対象者は申込み時に備考欄に「若手優秀講演賞対象」と記入ください。

・優秀発表賞：講演時に博士課程を含む学生対象者は申込み時に備考欄に「優秀発表賞対象」と記し、講演時の学年もご記入下さい。

ダイバシティ交流会：軽食、飲み物を用意します。男女、理系文系問わず、どなたでも参加できます。お誘い合わせの上、多数ご参加ください。

日時：2020年4月16日(木)一般セッション終了後
会場：An棟2階ホワイエ(予定)
費用：1,000円(学生無料)

懇親会：会員の懇親の集いです。お誘いあわせの上、多数ご参加ください。

日時：2020年4月17日(金)18:00～20:00(予定)
会場：ルヴェンソンヴェール駒場(予定)
費用：5,000円(学生3,000円)当日申込みの方は1,000円増し

問合せ先：(一社)日本航空宇宙学会 事務局
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-21 近三ビルヂング4階
TEL：03-6262-5313

今春、ご卒業される学生会員へお願い

社会人となられる方は、学生会員から正会員への資格変更届をご提出頂くこととなります。

変更届用紙は、JSASSのHP内、お問い合わせメニューバー、各種届出書にありますのでご記入の上E-mailまたはFaxで提出をお願いいたします。また所属名は確定した時点で再度ご連絡をお願いいたします。

追伸：退会なさる場合は、書面による届が必要となります。会費切れで退会の手続きはできませんので必ずご連絡をお願いいたします。

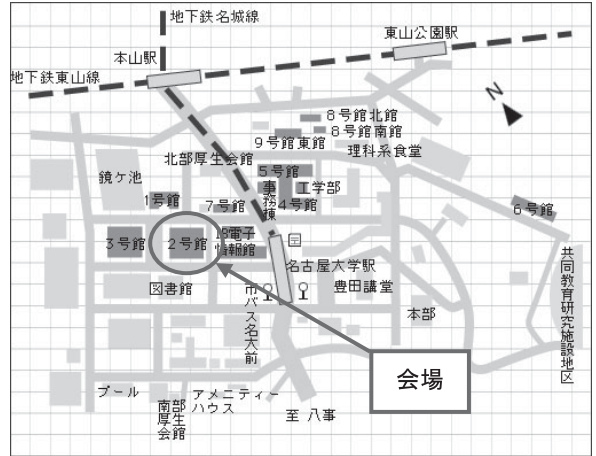
お問い合わせについては 事務局まで Tel：03-6262-5313 メール：hino@jsass.or.jp

日本航空宇宙学会中部支部 第 299 回定例談話会のお知らせ

講演題目：「エンジン屋から見た航空機用ピストンエンジン」

場所：名古屋大学 工学部 2号館 241 講義室
(地下鉄名城線「名古屋大学」駅3番出口 徒歩5分)

講演者： 嵯峨田 宗博 氏
(中部大学 宇宙航空理工学科 教育技術員)



講演内容 (Abstract) :

初の動力飛行であるライトフライヤーのエンジン、三菱ゼロ戦の栄エンジンの解説や、エンジンの冷却方式 vs エンジン形式、レシプロ航空機の世界記録とパワーUP手法、航空機用ピストンエンジンの出力トレンドなどについて講演する。

また、航空機用エンジン技術の自動車用エンジンへの適用や、愛知航空機とダイムラーベンツ&アツタエンジンについても紹介する。

日時： 令和元年 12月 18日 (水) 15:00 ~ 16:00

参加費： 無料

(事前登録不要、当日直接会場にお越し下さい。講演終了後には、ささやかながら懇親会を予定しています。)

主催：



問合せ先： 日本航空宇宙学会 中部支部事務局

第 62 期幹事 青木 維志

川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー

ヘリコプタプロジェクト本部

ヘリコプタ設計部 ヘリコプタ設計三課

Tel : 058-382-5106

E-mail : aoki_tadashi@khi.co.jp

中部支部 HP : <http://branch.jsass.or.jp/chubu/>



～日本航空宇宙学会 電子ジャーナル機関オンライン購読のご案内～

大学・研究所等における電子ジャーナル機関購読

便利なオンラインジャーナルのご購読をぜひご検討ください。

ご利用案内

1. 利用料金

和文誌(日本航空宇宙学会論文集,航空宇宙技術)のみの購読年間 60,000円+消費税

欧文誌(Trans. JSASS, Aerospace Tech. Japan)のみの購読 年間 60,000円+消費税

アクセス権をご購入いただくことにより、J-STAGEで公開している日本航空宇宙学会の論文集をインターネット上で最新号までご覧いただけます。1つの学校あたり、1つのアクセス権をご購入いただきます。キャンパスが各地に散在している場合でも、1つの学校内であればご利用に問題はありません。

2. 認証方法

固定のグローバル IPアドレスによる認証を基本とします。

1つの機関内であれば、1アクセス権で複数のIPアドレスをご登録いただけます(ただし、極めて多数のIPアドレスのご登録は、お断りさせていただく場合もございます)。同時アクセス数に制限はありません(「アクセス権」と「同時アクセス数」は同義ではありません)。固定のグローバル IPアドレスをお持ちでない場合は学会事務局にご相談下さい。

3. 契約期間 契約期間

4月 1日から翌年 3月 31日までの1年単位となります。年度途中から利用を開始する場合は、初年度のみ、サービス開始希望月から 3月 31日までとし、利用料金については年間利用料金を月割し、利用月数分をお支払いいただきます。

4. 機関契約サービス開始日

新規にお申込みの機関については、毎月 1日がサービス開始日となります。サービス開始を希望される月の前月 20日までに、機関利用申込書を学会事務局までお送りください。開始日までにアクセス権ご購入の請求書をお送りしますので、請求書到着から 1か月以内に利用料金のお振込みをお願い申し上げます。

問合せ先： 日本航空宇宙学会 事務局 Tel:03-6262-5313

【有料会告】

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授 公募

1. 公募職種及び人数： 教授（教育職）1名、准教授（教育職）1名
2. 配属部署：宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系
3. 求める人物像
宇宙飛行工学研究系の構造・機構系において中心的な役割を担って当該分野をまとめつつ牽引し、宇宙機の構造・機構工学に関する学術研究を国際的に主導するとともに、複数の太陽系探査および科学衛星プロジェクトに対して構造工学研究の立場からプロジェクトチームを強力に指導・牽引する人材（構造系・教授）、
将来の革新的な宇宙機システム及び宇宙輸送システムの実現に寄与する推進工学の先端研究を、自由な発想に基づいて行うとともに、再使用ロケットやエアブリーザ等の革新的な化学推進システム技術による高頻度宇宙輸送や軌道間輸送を実現するためのプロジェクト研究において、システムに係る推進工学研究の立場からプロジェクトチームを強力に指導・牽引する人材（推進系・准教授）
4. 着任時期： 決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります。
5. 応募締め切り： 2020年1月15日(水)9時30分(日本時間)必着
6. 問い合わせ先：宇宙飛行工学研究系・研究主幹 佐藤英一 sato@isas.jaxa.jp
科学推進部人事担当 電話：050-3362-2695 E-mail: isas-jinji@ml.jaxa.jp
7. 詳細はホームページ http://www.jaxa.jp/about/employ/educator_j.html を参照のこと

【有料会告】

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所
准教授 公募

1. 募集人員 准教授（教育職） 1名
2. 配属予定部署 宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系
3. 職務内容 遠距離通信および探査機バスの無線化などに関わる通信技術についての基礎的な研究を自由な発想に基づいて実施する。JAXAの深宇宙探査機(超小型探査機も含む)において必要とされる、将来の世界標準となる高性能高能率な通信機器に新しい手法や技術を導入し、自ら設計・試作を行うことにより開発を牽引する。地上系通信技術分野においてJAXAプロジェクトに積極的に貢献する。JAXAが持つ大学共同利用の役割を理解し、宇宙用通信の分野において大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに、大学院学生の教育・指導を実施する。また、関連企業などと連携し産学共同研究も推進する。
4. 着任時期 決定後できるだけ早い時期
5. 任期 なし。定年63歳。
6. 応募資格 博士号を有する。
7. 応募締切 2020年1月15日(水)9時30分(日本時間) 必着
8. 詳細情報 以下のWebサイトを参照して下さい。
(公募文) <http://www.isas.jaxa.jp/researchers/job/>
(研究系紹介) <http://www.isas.jaxa.jp/about/organization/spacecraft.html>

【有料会告】

九州工業大学宇宙システム工学 教員公募 (人工衛星またはその利用)

1. 公募する職名・人数：教授あるいは准教授 1 名
2. 所属部門：工学研究院・宇宙システム工学研究系
3. 部署 URL：<https://www.space.tobata.kyutech.ac.jp/>
4. 募集の背景と専門分野：

九州工業大学工学部では平成 30 年 4 月に宇宙システム工学科を設置しました。同学科は、日本で唯一の宇宙工学に特化した学科であり、本学がミッションの再定義で航空宇宙工学を重点分野としたことに基づいています。

宇宙システム工学科は、衛星・ロケット等に関する実践型教育を通じてプロジェクトマネジメント・システム工学的な視野を備えた人材を育成することを教育目的としています。研究面では、宇宙システムに関する研究を推進するとともに、学内の他系の教員および学外諸機関と宇宙利用分野において幅広く連携し、宇宙利用を通じて国内外の社会的課題の解決に寄与することを目的としています。

宇宙システム工学科の教員陣容を強化するため、宇宙工学、とりわけ人工衛星またはその利用の分野、に関する教育研究を推進することに意欲をもち、学内外の宇宙関連の教育・研究プロジェクトを発展させるべくアカデミックマネジメントに意欲と資質をもった優秀な人材を募集します。

5. 主たる業務：

- (1) 宇宙工学、とりわけ人工衛星またはその利用、に関する教育と研究を推進する
- (2) 学内外の宇宙関連の教育・研究プロジェクト並びに地域貢献等を推進する
- (3) 宇宙工学国際コースにおける教育を担当する
- (4) 学部における当該専門分野の卒業研究を指導する
- (5) 教授の場合、工学府大学院工学専攻の博士前期課程、博士後期課程の学生の研究指導を行う
- (6) 准教授の場合、工学府大学院工学専攻の博士前期課程の研究指導及び、博士後期課程の学生の研究指導の補助を行う
- (7) 大学における管理運営の業務を応分に担当する

6. 着任時期： 2020年4月1日以降のできるだけ早い時期

7. 任期：教授の場合、任期なし。准教授の場合、テニュアトラッキング。

テニュアトラッキングの場合の任期は採用後5年間。但し採用後3年目の後半に中間評価を行い、5年目の早い時期にテニュア審査を行い、審査に合格した後、テニュア（任期なし）となる。

8. 応募資格：

- (1) 人工衛星またはその利用に関する教育研究を推進できること
- (2) 日本語を母語としない場合、日本語に堪能であること
- (3) 学内外との共同プロジェクトを主導するマネジメント力を有すること
- (4) 国際共同プロジェクトならびに宇宙工学国際コースでの教育を行うに支障のないレベルの英語力を有すること
- (5) 博士号をもつこと（未取得の場合は、着任までに取得できること）

9. 待遇、提出書類等：

詳細な情報は下記をご覧ください。

九州工業大学のトップページ->採用情報->教育職員公募

<https://www.kyutech.ac.jp/archives/001/201910/191021space.pdf>

10. 応募締切： 2019年 12月 31日（火） 24:00（日本時間） 必着

11. 類送付・問い合わせ先：下記まで、タイトルを「九州工業大学宇宙衛星教員公募」とした上で、電子メールにて送付してください。その際、教授または准教授のいずれに応募するかを明記ください。問合せは電子メールにてお願いします。

九州工業大学工学研究院 趙孟佑 cho@ele.kyutech.ac.jp 電話：093-884-3228

13. 選考方法：書類選考に加え、必要に応じて面接を行います

【有料会告】

九州工業大学宇宙システム工学 教員公募 (宇宙輸送分野)

1. 公募する職名・人数：助教1名
2. 所属部門：工学研究院・宇宙システム工学研究系
3. 部署 URL：<https://www.space.tobata.kyutech.ac.jp/>

4. 募集の背景と専門分野：

九州工業大学工学部では平成30年4月に宇宙システム工学科を設置しました。同学科は、日本で唯一の宇宙工学に特化した学科であり、本学がミッションの再定義で航空宇宙工学を重点分野としたことに基づいています。

宇宙システム工学科では、「宇宙システムに代表される複雑な工学システムの創生、研究開発、製造、運用を担える技術者を養成する。」というコンセプトのもと、宇宙工学専門科目やPBLのような正課科目だけでなく、衛星・ロケットプロジェクト等の課外活動も含めた実践的教育を進めることを目指しています。更には、宇宙システム工学科の教員は大学院の宇宙工学国際コースの中核を担っており、大学院においても日本人学生・留学生の国際協働教育に携わっています。宇宙システム工学科の教員陣容を強化するため、宇宙工学、とりわけ宇宙輸送に関する教育と研究を推進できる優秀な人材を募集します。

5. 主たる業務：

- (1) 宇宙工学、とりわけ宇宙輸送分野、に関する研究を推進すること
- (2) 工学部における当該専門分野の科目を担当し、卒業研究の指導を補助すること
- (3) 宇宙工学国際コースにおける教育を補助すること
- (4) 工学府の博士前期課程学生及び博士後期課程学生の研究指導補助を行うこと
- (5) 学外との受託研究・共同研究を含め、種々の研究プロジェクト並びに地域貢献等を推進すること
- (6) 大学の管理運営業務を応分に負担すること

6. 着任時期：2020年4月1日またはそれ以降のできるだけ早い時期

7. 任期：テニユアトラッキング。

テニユアトラッキングの場合の任期は採用後5年間。但し採用後3年目の後半に中間評価を行い、5年目の早い時期にテニユア審査を行い、審査に合格した後、テニユア（任期なし）となる。

8. 応募資格：

- (1) 宇宙輸送に関する教育研究を推進できること
- (2) 日本語を母語としない場合、日本語に堪能であること
- (3) 宇宙工学国際コースでの教育に支障のないレベルの英語力を有すること
- (4) 博士号をもつこと（未取得の場合は、着任までに取得できること）

9. 待遇、提出書類等：

詳細な情報は下記をご覧ください。

九州工業大学のトップページ->採用情報->教育職員公募

<https://www.kyutech.ac.jp/archives/001/201910/191016space.pdf>

10. 応募締切：2019年12月31日（火）24:00（日本時間）必着

11. 類送付・問い合わせ先：下記まで、タイトルを「九州工業大学宇宙輸送助教公募」とした上で、電子メールにて送付してください。その際、教授または准教授のいずれに応募するかを明記ください。問合せは電子メールにてお願いします。

九州工業大学工学研究院 趙孟佑 cho@ele.kyutech.ac.jp 電話：093-884-3228

13. 選考方法：書類選考に加え、必要に応じて面接を行います

14. その他：関連情報は以下を参照してください。

宇宙工学国際コース

<https://space-academy.net/space.html>

本会共催・協賛・後援行事

第56回 X線材料強度に関する討論会

主催：日本材料学会
日時：2019年12月6日(金)
会場：東京国際交流館プラザ平成 会議室1
(東京都江東区青海2-2-1)
参加費：(講演論文集を含む)
会員(協賛学協会含む) 6,000円
非会員 10,000円
学生会員(協賛学協会含む) 無料
学生非会員 2,000円

第4回 WEATHER-Eye オープンフォーラム

主催：気象影響防護技術コンソーシアム
日時：2019年12月11日(水)13:00~17:25
会場：一橋大学 一橋講堂(千代田区一ツ橋2-1-2)
参加費：無料

第20回 SICE システムインテグレーション部門講演会

主催：計測自動制御学会システムインテグレーション部門
開催日：2019年12月12日(木)~14日(土)
会場：サンポート高松(香川県高松市サンポート2-1)
問合せ先：大会幹事 石原秀則
電話：087-864-2334,
FAX:087-864-2369
E-mail:ishihara@eng.kagawa-u.ac.jp

No. 19-383 講習会「炭素繊維強化複合材料の疲労破壊特性の基礎と寿命評価技術」

主催：日本機械学会
日時：2019年12月13日(金)
会場：早稲田大学西早稲田キャンパス55号館N棟1階第2会議室
聴講料：会員25,000円, 学生員10,000円
会員外35,000円, 一般学生15,000円

円

第6回初心者にもわかる信頼性工学入門セミナー

主催：日本材料学会
日時：2019年12月13日(金)10:25-16:30
会場：阪南大学 あべのハルカスキャンパス セミナー室(大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス23階)
参加費：(テキスト代を含む) 会員4,000円(学生:2,000円)
非会員8,000円(学生:3,000円)

第28回スペース・エンジニアリング・コンファレンス [SEC'19]

主催：日本機械学会 宇宙工学部門
開催日：2019年12月19日(木), 20日(金)
会場：公立学校共済組合鳥取宿泊所 白兎会館(鳥取市末広温泉町556)
問合せ先：日本機械学会 宇宙工学部門(担当 渡邊賢太)
電話(03)5360-3504,
FAX(03)5360-3507
E-mail:watanabe@jsme.or.jp

第20回アジア微粒化会議および第28回微粒化シンポジウム

主催：日本液体微粒化学会, 日本エネルギー学会, ILASS-Asia
日時：2019年12月21日(土)~22日(日):20th ILASS-Asia
2019年12月22日(日)~23日(月):第28回微粒化シンポジウム
会場：山口大学 常盤キャンパス(山口県宇部市常盤台2-16-1)
参加費：
A. 20th Annual Conference of ILASS-Asiaと第28回微粒化シンポジウムの両方に参加の場合
一般 事前申込20,000円(申込期限後25,000円)

学生 事前申込15,000円(申込期限後20,000円)

B. 第28回微粒化シンポジウムのみに参加の場合
会員 事前申込6,000円(申込期限後9,000円)
非会員 事前申込11,000円(申込期限後14,000円)
学生 事前申込3,000円(申込期限後6,000円)
申込方法：2019年12月9日(月)までに各シンポジウムのホームページから申し込み。

第51回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム

主催：日本非破壊検査協会
日時：2020年1月11日(土)
会場：機械振興会館(東京都港区芝公園3-5-8)

第48回ガスタービンセミナー「ガスタービンの最新技術動向」(仮題)

主催：日本ガスタービン学会
日時：2020年1月23日(木)~24日(金)
会場：東京大学山上会館大会議室(東京都文京区本郷7-3・1 東京大学本郷キャンパス構内)
参加費：会員 2日間 30,000円 1日のみ 23,000円
学生会員 5,000円
会員外 2日間 40,000円 1日のみ 30,000円
会員外(学生) 8,000円

第27回超音波による非破壊評価シンポジウム

主催：日本非破壊検査協会
開催日：2020年1月28日(火)~29日(水)
開催場所：東京都産業技術研究センター青海本部(東京都江東区青海2-4-10)

Yes, I Can!

女性航空教室



女性の活躍の場が広がっています。
あなたも"空の夢"に挑戦し「航空教室」に参加しませんか？



【日時】 2019年12月15日（日） 9：30-17：00
（受付開始時刻 9：00）

【場所】 航空会館7F 大ホール（東京都港区新橋1-18-1）

【対象】 航空業界への就職を志望する16歳～30歳の女性の方
（航空機操縦士、航空機整備士、航空機製造技術者、
ヘリコプター操縦士・整備士に興味のある方）

【定員】 先着120名

【申込】 skyworksホームページ <https://www.skyworks.info/>

【締切】 2019年12月11日（水）

※定員に達した場合は申込締切に関わらず受付を終了致します。

【講師】 女性航空従事者

航空機操縦士（ANA/JAL/ソラシドエア）、航空機整備士（ANA/JAL/AIRDO）
航空機製造技術者（IHI/SUBARU）、ヘリコプター操縦士・整備士（朝日航洋）

【内容】 航空機操縦士、航空機整備士、航空機製造技術者、
ヘリコプター操縦士・整備士の講話、グループディスカッション等



→昨年(2018年12月16日)の開催模様→

主催：公益社団法人日本航空機操縦士協会
公益社団法人日本航空技術協会
一般社団法人日本航空宇宙工業会
一般社団法人全日本航空事業連合会
一般社団法人日本女性航空協会

企画：航空機操縦士養成連絡協議会
航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会
後援：国土交通省航空局
経済産業省製造産業局（予定）
文部科学省研究開発局（予定）
協力：一般財団法人日本航空協会